

令和5年度 自己点検・自己評価

桑名医師会立桑名看護専門学校

大項目	中項目	令和5年度 評価の概要と今後の課題
教育理念	教育理念・教育目的の設定及び達成	令和5年度は1年生の確保が困難であった年度であり、入学した学生の基礎力及び看護への志望動機が定まってない学生もあり、退学者が多い学年であったことから看護学生に必要な教育理念及び教育的を教育の中に落とし込む必要がある。また、指導指針として工夫をすべきである。
教育目標	教育目標の設定及び達成	教育目的をふまえた目標として本学の特徴を示すには不足がある。また、目標の表現として到達レベルを含むものに加工する必要がある。同時に卒業時の学生の実践力強化も必要と考える。
教育課程経営	教育活動経営者の活動	本年度より教育内容の見直しを開始しているが、新カリキュラムの変更直後のため、内容的に再修正が必要と考える。
	教育課程編成の考え方とその具体的な構成	令和6年度よりカリキュラムの見直しを進める予定とした。
	科目・単元構成	教育計画・評価に関しては、見直しを行い、倫理的にも公平な評価体制をする準備をした。令和6年度より内規を変更する。
	教育計画	研究に取り組む教育の姿勢は乏しいが、少数ではあるが、研修会に参加し新しい見識を持って情報共有した。
	教育評価の体系	臨地実習においては、実習の場の確保が困難な状況になってきた（看護大学の増加、定員増）ため、新たな施設の承認申請を行い許可を得た。しかし、令和6年度も引き続き実習の場の追加申請を計画している。
	教員の教育・研究活動の充実	実習の場の確保に関しては、学生間での不平等は生じていない。
	臨地実習	
教授・学習評価	授業内容の妥当性	教育内容の重複は少ないが、看護の基礎教育の時間が不足している。これは、学生の基礎能力（知的、経験的）の低さから基礎看護の教育時間を増やす必要性が生じての判断である。この点を踏まえ、カリキュラムの内容構成を見直していく事とした。
	授業の展開過程	
	目標達成の評価とフィードバック	
	学習への動機づけと支援	
	授業・実習評価	
経営・管理課程	設置者の意志・指針	教育と学校経営とのアンバランスが生じている。大きく影響したのは1年生の学生数の減少である。この点が大きく経営に関与した。組織の規模が小さく十分な分業ができない中で、役割を拡大しつつ、補い合い運営を行っている。ただ、個人の能力差が大きく業務量の偏りが生じている。教員は、教育に必要なものを最小限で工夫する習慣はあるものの、経年劣化する備品も多く、更新を計画的にすすめている。防火、防災訓練を年2回とし、非常用の備品整備も開始したが、予算的にすぐに整えることは難しい。学生への支援は継続できている。健康管理面のフォローも実施中。保護者への連絡・支援についても、適切に実施している。自己評価・点検により課題は明らかであるが、組織体制的として長期・中期計画等をたてていないため今後実施していく。
	組織体制	
	財政基盤	
	施設設備の整備	
	学生生活の支援	
	養成所に関する情報提供	
	自己評価・自己点検体制	
入学	学生募集活動	学生数の激減への対応策を講じた考案を実施した。令和6年度の学生は確保できた。
卒業・進学	卒業・就業・進学	就職は100%であり、各々の志望先に入職できた。就職先とも一部であるが、交流により情報交換も実施している。国試への取り込みも計画的に実施している。また、退学者を減らす取り組みも行っている。
地域交流	地域交流	地域との連携が難しい状況である（一部到達）。医療施設との連携に関しては充分実施できている。国際看護の学びも導入している。また、学生の中には在日外国人もおり、学習者は多様化している。
	国際交流	
研究	研究活動	研究費の確保、増額及び研修の機会を増やしたいが、経営状況から難しいと判断した。
	概評	新カリキュラムにおいて、学生のレディネスに合わせた工夫が必要である。

	教育理念 教育目的	教育目標	教育課程經營	教育課程經營	教授・学習 評価過程	經營 管理過程	入学	卒業・就業 進学	地域交流 国際交流	研究
令和4年度	2.6	2.6	2.4	2.5	2.5	2.3	2.1	2.2	2.0	1.5
令和5年度	2.4	2.3	2.4	2.5	2.5	2.3	2.4	2.2	2.0	1.6

自己評価・自己点検

